

「スペインの秋とハロウィーン」

国際交流員 ヘマ・ガルベス（スペイン）

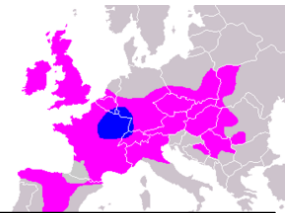
皆さんこんにちは！スペイン国際交流員ヘマ・ガルベスです！山口県もすっかり秋になりましたね。所々に紅葉が見られ、柿も美味しくなりました。そしてハロウィーンが来るのを待ち遠しく思っている人が多いでしょう。皆さん、ハロウィーンと言えばどんなことをイメージしますか。きっとカボチャとトリックオアトリートを想像するでしょう。スペインの秋には両方の伝統がありません。それでは、スペインの秋祭りを見てみましょう！

ハロウィーンといえは10月31日ですが、スペインでは違うイベントがあります。11月1日はカトリックの「ディア・デ・トドス・ロス・サントス」諸聖人の日です。この日は日本のお盆と少し似ていて、祖先や殉教者を記念する日です。お墓参りに行って、花を供える習慣があります。



11月1日お墓参りする人

しかしこのカトリックの祭りは元々ケルト人の祭りでした。ケルト人の文化では夏が終わったら収穫と寒い季節の到来を祝う「サマイン」という祭りがありました。ケルト人は鉄器時代ヨーロッパの色々な所で住んでいました。スペインでもケルト人が昔住んでいて、彼らの文化が少し残っています。ケルト人は夏が終わって日が暗くなると、生者と死者の世界が交わると信じていました。



ケルト人の分配

というわけで、スペインでは秋になったら、昔のケルト人と同じく秋の幸を食べて、11月1日にお墓参りしに行きます。

スペインの「秋の幸」といえば主に栗、サツマイモとアーモンドがあります。秋になったら全国で焼き栗売りの「Castañera」を見かけます。焼き栗屋台で焼きたて栗を新聞か紙のコーンに入れて食べます。スペインのあるところでは焼き栗屋台で焼きサツマイモも売られています。伝統的な焼き栗は主にシリンダー状の形をしていて、スペイン語で「tambor」（太鼓）と呼ばれます。

昔、諸聖人の日の夜家族が集まって晩御飯を食べてから暖炉で栗を焼きました。焼いている栗が一つの亡くなった人の魂を意味して、焼きながら跳んだらそれはその魂は地獄を避けたという意味でした。



「Castañera」栗屋台



新聞紙で包んでる栗



栗焼き



焼き栗を楽しんでいる子供たち

地方よっての伝統

ガリシア州

ガリシア州では11月山に行って火を囲んで栗や肉等を焼いて食べます。そしてその時期にできたワインを家族や友達と一緒に飲みます。



山で栗を拾っている子供たち



山で栗を焼いている人達



ガリシア州

アストゥリアス州

アストゥリアス州ではこの時期「アマグエストゥ」という祭りがあって、家族が火を囲んで栗を食べたり、伝統的な踊りを踊ったり、州の名物「シードラ」（シードル）を飲んだりします。食べ切れなかった栗は死者に捧げます。アストゥリアス州産のシードルが有名でその美味しさを完全に楽しめるためには瓶をコップからできるだけ離して注ぎます。



アストゥリアス州



町の広場で栗を焼いている人達



伝統舞踊を踊っている子供たち



伝統衣装を着ている若者



アストゥリアス州のシードラ

バスク州

バスク州では「ガスタイネレ」という祭りがあって栗も食べられます。しかし栗だけではなくて、カタツムリも食べられます！昔、バスク州では栗をイガから取り出さずに天井のない石の建造物で保管されていました。現在でもこの「ericeros」をバスク州で見かけます。



カタツムリ料理



栗の収蔵庫

カタルーニャ州

カタルーニャ州では11月1日の夜家族で「Castanyada (カスターニャーダ)」をやります。この習慣でもやっぱり栗やサツマイモを食べますが、カタルーニャ州では「Panellet (パネイエツ)」という非常に美味しいお菓子を食べます。アーモンドの粉と、ジャガイモなどで作ったお団子をベースに、いろんなデコレーションをします。松の実を周りにつけるのが、割とポピュラーなスタイルです。松の実のバージョンが一番人気があるもののココナッツ粉、チョコレート等も入れて色々な種類があります。



Castañera



色んなパネイエツの種類

そして諸聖人の日11月1日に食べられるのは「聖人の骨」というお菓子です。アーモンド粉と砂糖を混ぜ合わせたマジパン生地で卵黄を使ったクリームを巻いた細長いお菓子です。スペインの広い地域ではブニュエロス・デ・ビエントと呼ばれる一口大の揚げ菓子も食べられます。



聖人の骨

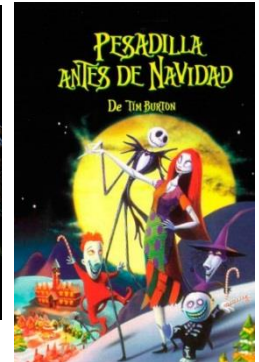
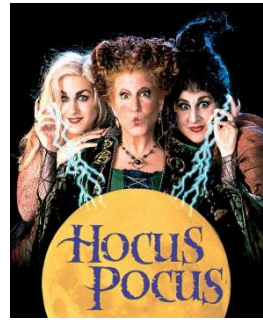


ブニュエロス・デ・ビエント

アメリカからの影響

スペインで自分の秋と10月や11月の伝統があってもやっぱりグローバル化の影響でアメリカの映画やポップカルチャーを通してスペインでも最近アメリカのハロウィーンの人気が高まっています。しかし、アメリカと違うところが結構あります。

私は子供の頃テレビでアメリカのハロウィーンについてのアニメや映画をよく観ました。私が主に観たのは怖い話とか魔女や化け物の話でした。



ハロウィーンの時期でスペインのテレビでホラー映画が放送されたり、スペインの番組でホラーをテーマにしたスペシャルがあったり、店でパンプキンマークのグッズが売られていたりしていました。そういうわけで私の世代の人々のほとんどが「ハロウィーン」といえば「ホラー」と思います。

そのホラーのイメージからスペインでは現在10月31日の夜、所々で「ハロウィーンパーティー」があります。そのハロウィーンパーティーに参加するために、ほとんどの人は怖い仮装をします。しかし、アメリカでは必ずしも怖い仮装をしないようで、私はびっくりしました。スペインではカーニバルがありますので好きな仮装はその時にします。



スペインのハロウィーンパーティーの様子



アメリカのハロウィーンパーティーの様子

他の違うところといえば、スペインの子供はトリックオアトリートをしません。アメリカではよく一戸建ての家が多くて近所の子供たちは保護者と一緒に色んな家を回ってキャンディーをいっぱいもらうために歩きますが、スペインの人は一般的に集合住宅（マンション）住んでいます。一階ずつトリックオアトリートをするのが大変なのでやる人はほとんどいません。又はやってみる人がいてもスペインで元々そういう習慣がなくてキャンディーを準備する家がほとんどありません。

しかし最近ある市ではハロウィーンの人気をきっかけにして海外の新しい文化と伝統の文化をおりませたイベントが開催されます。あるスペインの町ではトリックオアトリートツアーがあって、子供たちは怖い仮装を着て街中の店でキャンディーを頼めます。その夜道で栗とサツマイモや伝統のお菓子の屋台が出されて、翌日の諸聖人の日の準備をします。



アメリカの家のハロウィーン飾り



スペイン人はほとんどが
集合住宅に居住



怖い仮装をしている子供たち



栗やサツマイモの屋台

スペインの秋について紹介しましたが、いかがだったでしょうか。

スペインでは昔ながらの諸聖人の日のお祭りと、海外の影響もあ
って広まったハロウィーンの両方が楽しめます。



皆さんは、ハロウィーン（10月31日）をどのように過ごしますか??